

- 森林を有していない三鷹市では、保育園の机・椅子・おもちゃなど、森林環境譲与税を主に木材の利用促進及び普及啓発に充てていく方針である。
- 令和4年度においては、私立認可保育園及び認定こども園を対象に木製備品を導入した。
 - ・各保育園で購入品目を選定し、園児が過ごすスペースに木製用品を設置した。
- 令和5年度は地域型、小規模保育施設及び私立幼稚園を対象に同様の事業を実施予定である。

事業内容

私立認可保育園における「公共施設木製備品導入プロジェクト」推進

- ・私立認可保育園及び認定こども園30ヵ所を対象に園児が使用する机や椅子、下駄箱などの什器や、屋外遊具を購入した。

【事業費】24,800千円

【実績】机・椅子・遊具等の木製備品を購入

取組の背景

- ・「三鷹市公共建築物等における木材利用推進方針」に基づき、健康的で温もりのある生活区間の形成や地球温暖化の防止、循環型社会への貢献が期待できる木材の、保育施設等における遊具や什器等への利用を推進するため、森林環境譲与税を活用し、施設が購入する木製備品等の経費を補助することとした。



（事例1 絵本棚）



（事例2 テーブル）



（事例3 木製玩具）

工夫・留意した点

- ・各園の事情に合った使いやすい用品を購入できるよう、各園で購入する形をとった。

- ・市においては、施設が購入する木製備品の利用目的や安全性、維持管理等を考慮して審査した。

取組の効果

- ・本事業を行うことで、保育園における木材を利用した備品の導入の促進につながり、園児が普段過ごすスペースにおいて木の温もりを感じられるようになった。

基礎データ

①令和4年度譲与額：20,872千円		②私有林人工林面積（※1）：1ha	
③林野率（※1）：0%		④人口（※2）：195,391人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 森林を有していない三鷹市では、小・中学校の普通教室への木製ロッカー導入など、森林環境譲与税を主に木材の利用促進及び普及啓発に充てていく方針である。
- ▶ 令和4年度においては、以下の取組により学校への木製備品の導入を行った。
 - ・多摩産材の木製ロッカーを小学校1校の普通教室（10教室）へ20台導入し、木材の利用促進を図るとともに、児童の通学携行品に係る収納スペースの拡充及び木製製品により得られる温かみと潤いのある教育環境づくりを進めた。
- ▶ 令和5年度以降も「公共施設木製備品導入プロジェクト」として、各学校の改修時期等を考慮したうえで、更に小・中学校の普通教室への木製ロッカー導入を進めて行くこととしている。

□ 事業内容

小学校における「公共施設木製備品導入プロジェクト」の推進

- ・多摩産材の木製ロッカーを市立小学校1校の普通教室（10教室）へ20台導入した。
- ・木製製品の温かみを活かした、潤いのある教育環境づくりを進めた。

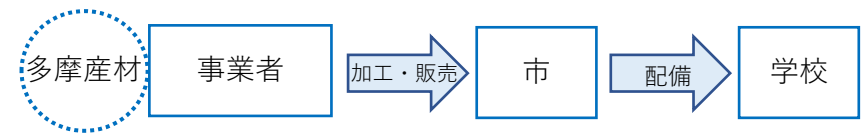
【事業費】10,010千円

【実績】・幅2,150mm×奥行450mm×高さ1,190mmの木製ロッカー10教室分20台
・木材使用量3.122m³



（導入した多摩産材の木製ロッカー）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・老朽化や収納スペースに課題が生じていた小・中学校の普通教室のロッカーについて、現在の需要に見合ったサイズの木製ロッカーを整備することで、木材の利用促進とともに、収納スペースの拡充や温かみと潤いある教育環境づくりが進んだ。
- ・地元である多摩地域の木材の利用促進を図るため、多摩産材を使用した木製ロッカーを導入した。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	20,872千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	195,391人
⑤林業就業者数（※4）	3人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「R2国勢調査」より